

青空の北アルプスを遠くにー羽田次郎さん元気に遊説



駒ヶ根市の個人演説会で蓮舂・参議院議員と共に（14日）



抜けるような青空に北アルプスが映える（15日）



小川村の道の駅・おがわで（15日）



下条みつ・衆議院議員と共に黒姫駅前（15日）

マスクして感染防止対策を取って街頭演説を聴きに行こう

◆街頭演説の計画は変更になる場合もありますので注意してください◆

【4月16日（金）】 1区

時間	内容と場所
8:00	[街頭演説] 長野大橋・川合新田南（長野市）
10:00	[街頭演説] JAグリーン長野 Aコープ松代店前（長野市松代町西寺尾）
14:00	[街頭演説] JANAがの Aコープすこう店前（須坂市小河原）
16:00	[街頭演説] 国道403号 長野市江部交差点（中野市）
17:15	[街頭演説] ツルヤ飯山店前（飯山市飯山）
19:00	[街頭演説] 原信中野店前（中野市西条）

【4月17日（土）】 3区

時間	内容と場所
13:00	[街頭演説] JA佐久浅間 軽井沢支所前（軽井沢町長倉）
14:00	[街頭演説] 八十二銀行御代田支店前（御代田町御代田）
16:00	[街頭演説] 小諸駅前（小諸市）
18:00	[街頭演説] 東御市 田中商店街（東御市田中）

蓮舫さん（立憲民主党代表代行／参議院議員）の訴え（個人演説会／駒ヶ根市）

■変わってしまった飯田の街

参議院議員、立憲民主党代表代りの蓮舫です。駒ヶ根は初めて来ました。先日、飯田市を訪れました。10代からの親友の実家があり、商店街でお店をされています。若い時には、街も賑やかで、友人の実家も大きなお土産物屋さんでしたが、今では小さなタバコ屋さんになって、シャッターのお店も増えて随分と街の様子が変わっていました。少子化・高齢化・人口減少、地方が直面している現実だと思います。

■地方の「自助ではどうしようもない」という声

今回の選挙、吊い合戦と言われていますが、それ以前に、この国、地方の現状をどうしたいのか、地方の皆さんの「自助ではどうしようもない」という声、この大きな流れのなかで、政治がどのような国を作っていくのか。その担い手となる参議院議員一人を選ぶ、重要な選挙です。駒ヶ根の皆さんに、羽田次郎さんをぜひ参議院に送っていただきたい。よろしくお願いたします。

■「雄ちゃん、蓮ちゃん」と呼び合う仲

雄一郎参議院議員とは「雄ちゃん、蓮ちゃん」と呼び合う仲でした。同い年で、参議院でずっと仕事をしてきた。同じ政党で政治家になるなんて思ってもいませんでしたが、杉尾さんはTBS、私はテレビ朝日でライバルでした。取材対象だった羽田孜総理、優しい方でした。ひとりの記者にも総理でありながら真摯に対応する。今の総理とは大違いです。そのお父様が亡くなられ、納棺前に国会の周りを車で2、3周まわられたのを、雄ちゃんと浴道で見送ったことを思い出します。まさか雄ちゃんを見送ることになるなんて。残念です。

■吊いではなく現政権を審判する選挙

コロナ感染症、9,000人を超える方が日本では亡くなりました。雄ちゃんだけの話ではない。普通の病気とちがいで、お見舞いも、看取することもできない。最悪の場合には、最愛の人との再会がご遺骨ということもある。愛する人、大切な家族、一人でも多くの国民の命を守る。今回の選挙は吊いというよりも現政権の感染症対策を続けていくのか、命を守るために提案をしているわたし達、野党の議席をしっかりと守っていただくのか、という選挙です。

■自己都合的な現状認識の菅政権

今日の参議院本会議で杉尾さんの質問に対して、驚くべき認識を菅総理がお示しになられた。確実に第4波が来て、大阪は1,000人を超えました。東京も連日多くの感染者が出て、変異株も恐ろしい。にもかかわらず、総理は、「全国は大きなうねりとはなっていない」と。政府の専門家会議でも「第4波と言って差し支えない」と言っている。都合のいい時は専門家が言っている、都合の悪い時は専門家の声には耳を傾けない。自己都合的な現状認識では、コロナ感染症を抑え込むことはできない。だから、しっかりと戦いたいと思いました。

■恐れを取り除くのが政治の仕事

去年、第3波が来ていたのにもかかわらず、GOTO トラベル、GOTO イート。感染が広がりました。二階幹事長、いまだに言っています。「恐れていたら、何もできない」。恐れを取り除くのが、政治なんじゃないでしょうか？ だから私たちは提案している。観光業界大変なのはわかります。インバ

ウンドもなくなった。国内の人も動かなくなった。観光も飲食も大変でしょう。だったらなぜ、二階さんがトップを務める観光業界を介してお金を出すのではなくて、直接、観光業で痛手を被っている人たちに給付金を渡しケアをすることの方がよっぽど現実的な政策ではないでしょうか。なぜ与党は議論しないのか。どこを見た政治をしているのか。

■検査拡充法案を無視する政府与党

去年の3月から徹底的な検査拡充法案を出しているのに無視しているのは政府与党です。検査をすれば安心が手に入る。医療、介護、教育、保育の現場、最低限の生活を守ってくださっているエッセンシャルワーカーのみなさんに定期的に検査を受けられるようにするのをどうして頑なに拒否するのか全くわからない。当たり前のことをやろうじゃないですか。徹底検査、早期発見、早期隔離、早期入院、早期治療、感染を抑え込める。当たり前のことをやって、同時に自粛をしている皆さん方に、狭い業種だけでなくしっかりとした補償をすることこそ、感染症を封じ込めるZERO コロナ政策だと、提案をさせていただきます。

■長野県の高齢者65万人、届いたワクチンは1万人分

もうひとつワクチンです。情報開示されないまま、1年が過ぎ、ようやくご高齢者への優先接種が始まりました。昨日から長野でも始まりましたが、長野県に届いたのは1万人分です。長野県は65歳以上のご高齢者の方が、65万1千人います。いったいいつ打ち終わるのでしょうか？ ワクチンの差が、命の差、健康の差、感染リスクの差につながる。人と人との距離をつくり分断を生んでしまう。英国では半分の接種が終わっている。米国は3分の1が終わっている。日本は0.8%です。

■当選後は、駒ヶ根のソースかつ丼を

菅政権には現実を見てもらいたいという声を、長野の皆さんに、4月25日、羽田次郎でしっかりとあげていただきたい。いかがでしょうか。皆さんの思いを官邸に届けていただきたい。期日前投票いかれた方どれくらいいらっしゃいますか？ どうしてこんなに少ないんですか？ お願いします。ぜひ期日前投票に行ってください、声を広げていただきたい。そして4月25日、長野県民の矜持を、思いを羽田次郎に乗せていただき、議員になった羽田次郎さんに、この駒ヶ根でソースかつ丼を食べさせていただきたいと思います。どうか羽田次郎さん勝たせていただけるよう心からお願い申し上げます。どうかよろしくお願いたします。



信州市民アクション

◆戦争をさせない1000人委員会・信州

長野市県町532-3 電話 026-234-2116 FAX234-0641

◆憲法9条を守る県民過半数署名をすすめる会

長野市県町593 電話 026-234-2216 FAX234-2219